

○事業所名	アイダージュニアさいたま中央教室（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2026年2月20日		～ 2026年3月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	206年2月20日		～ 2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている	毎日のミーティングを通して、お子様たちのご様子を職員間で共有を行い、子どもたちにとって必要な活動を毎日組み立てて支援しております。また、その際のお子様の様子などもしっかりと共有しあうことで療育内容を固定化せず、お子様たちに合わせて支援を行うことが出来ております。	今後も研修などを通して、職員一同支援のスキルアップを図ってまいります。また1人1人のアセスメント会議を定期的に行いより良い支援へとつなげていきます。
2	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	毎日清掃をおこない、おもちゃや療育具などもしっかりと消毒しております。また子供たちの毎月の製作も掲示していたり、季節に合わせて壁面も変更しており子供たちが楽しく落ち着いて過ごせるよう工夫しております。	トイレなど、手順やマナーなどがわかりやすくなるように視覚的な支援をもう少し取り入れていきます。
3	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	保護者様と普段からコミュニケーションをとるように心がけており、お電話やラインなど保護者様からのお声やお悩みに迅速に対応できる体制を整えております。お子様も保護者様も通いやすく安心できる場所であるよう日々努めております	よりスムーズに保護者様からのご連絡にお返事が出来るように職員間で検討し工夫してまいります。
	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	畑作業の際、地域住民の方との挨拶や近隣学童のお子様との関りはあるが保護者様に周知出来ていなかったほかのお子様との関り自体は少ないため今後検討していきたい	近隣の方との関りなどは感染症対策をしっかりと取り組んだうえで増やしていけるよう検討していく。

2	<p>保護者会等の開催や、父母の会の活動の支援等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。</p>	<p>感染症対策や教室の大きさにより、ご案内できる人数が限られてしまうため別の会場を借りるなど、出来る工夫はしています。</p>	<p>今後も感染症対策を行いながら、ご家族を対象としたイベントを行い周知していきます。</p>
3	<p>定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。</p>	<p>ブログやインスタグラムなど行っているが、保護者様への周知が足りなかったため、情報の共有方法の検討を職員間でも常に行っていく。</p>	<p>ブログなどは毎日更新しているため、インスタなどの更新頻度を増やし周知に努めていく。</p>